

令和2年度 尾野見小学校の教育（経営方針）

1 学校経営の基本理念と経営方針

公教育の理念と家庭や地域・児童の実態を踏まえ、尾野見小の校風の創造的継承を図りながら、児童の基本的人権を大切に、自立と共生の心を育む調和のとれた教育実践を通して、活力のある教育を推進する。

- 1 「学校は地域の宝物」の認識の下、校風及び地域の特色・願いを生かした社会に開かれた学校を創る。
- 2 職員の協働を大切に、「みんなで創る尾野見小学校」を合言葉に、学校組織の機能化・充実を図る。
- 3 教育課程全体を通して、知・徳・体にわたる「生きる力」(①生きて働く「知識・技能」 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」)を育成する。
- 4 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、確かな学力の育成を図る。
- 5 率先垂範・師弟同行を信条に、明るく潤いのある教育環境の整備を進める。
- 6 家庭・地域、保育園・幼稚園・中学校との連携を充実させ、教育活動の充実・深化を図る。
- 7 業務改善の視点から、業務の公平分担、校務データの共有化、専門スタッフや地域人材の活用等を推進する。

2 校訓・学校教育目標

【校 訓】 明るく 強く正しく 健やかに

【学校教育目標】 すすんで学び みんなで伸びる おのみっ子を育てる

3 三大目標

学 習 目 標

- 基礎学力の向上
- 表現力の育成
- 学習意欲の向上

生 活 目 標

- 基本的な生活習慣の確立
- 勤労意欲の向上
- 読書習慣の確立

保健・安全目標

- 体力・気力の向上
- 健康意識の育成
- 安全意識の向上

4 めざす姿

【キャッチフレーズ】 おもいやり 花と緑の 尾野見小

【めざす児童像】

- 自ら気づき、考え、協力して課題を解決するおのみっ子（知育 強く正しく）
- 読書に親しみ、よく働き、思いやりの心をもったおのみっ子（徳育 明るく）
- 進んで運動に親しみ、健康で安全な生活を実践できるおのみっ子（体育 健やかに）
- 学校や地域に誇りをもつおのみっ子

【めざす学校像】

- 子どもが主体で、よさや可能性が発揮される学校
- 秩序や規律が守られ活気溢れる学校
- 花と緑に囲まれた整然とした学校
- 家庭や地域の期待に応え、信頼される学校

【めざす職員像】

- 厳しさと慈しみをもった職員
- 真摯に研鑽を積む職員
- 保護者、地域に信頼される職員
- 時代の変化に対応し、職責感のある職員

【めざす家庭像】

- 望ましい生活習慣を育む家庭
- 家族愛に満ちた温かい家庭
- 学校と連携し、子どもを伸ばす家庭

【めざす地域像】

- 先人の知恵やよさを伝える地域
- 学校と同じ目標を共有し、補い支える地域

5 重点目標及び努力点と具体的方策

I 豊かな心育成プラン（明るく 徳育） ～にぎりめしの教え（感謝の心）～

1 豊かな心を育てる多様で質の高い教育活動を推進する。

- 年間35時間の道徳の時間の充実を図る。
- 心の教育推進委員会を中心に、いじめの未然防止に努める。
- 異年齢集団による教育活動を推進する。（掃除、運動、緑化等）
- 地域の人材や素材を積極的に活用する。（高齢者・ふるさとづくり委員会・公民館等）
- 食農教育を推進する。（さつまいも、大根、にんじん、ピーマン、なす、ミニトマト、きゅうり）
- 保・幼・小、小・小、小・中の合同学習及び連携を推進する。
- 各学年の目標読書冊数（低：120冊、中：100冊、高：80冊）にチャレンジさせる。（学校図書・巡回図書の利用促進、必読図書の読破の奨励、毎月23日の親子読書の日の推進、家読・ノーテレビデー）
- みんなで朝の歌を歌って一日をスタートする。

2 明朗で思いやりやけじめのある児童を育成する。

- 学校でも地域でも「立ち止まって、相手の目を見て、頭まで」のあいさつと元気な返事を推進する。（あいさつ運動の推進）
- 廊下や階段を静かに歩くよう見届けと指導を徹底する。
- 温かい言葉遣いを身に付けさせる。
- 無言で時間いっぱい掃除をする。
- 毎月1回の情報交換会を実施する。（職員会議前）

3 保護者・地域・関係機関と連携し、心に届く生徒指導を推進する。

- 家庭訪問、教育相談、学級PTA等で、保護者との連携を図る。
- 学校だより・HP・学級だより等で情報提供に努める。（学校だよりは校区全戸数配布）
- 学校運営協議会・SSW・関係機関との連携を密にし、業務の効率化を図る。
- 地域公民館や市主催行事へ積極的に参加する。

II 確かな学力向上プラン（強く正しく 知育） ～つけあげの教え（確かな変容）～

1 個に応じた目標設定と指導工夫に努める。

- アンダーアチーバーゼロを目指した指導の徹底を図る。（単元末テスト80点以下は再テストをし、90点以上を目指す。速読・速写・速算の推進、音読カードの活用）
- 各学年、確実な基礎的・基本的事項の定着と活用力の向上を図る。（朝の学習タイムの充実 国語・算数）
- 学年に応じた家庭学習時間の確保と内容の充実を図る。させるべきは必ずやり遂げさせるしつけの徹底（学習15分×学年＋読書20分、「家庭学習の手引き」の活用）
- 学習の仕方を身に付けさせる。（授業の学習過程や学習のルール・発表話型等・宿題の工夫・予習や復習の仕方）

2 できる・分かる授業をめざした指導方法の改善を図る。

- 担任相互に授業参観をし、互いの指導力の向上を図る。
- 児童の主体的な学習を推進する。（問題解決学習や体験的学習の推進、学習過程の工夫、めあてとまとめの板書と整合性、児童から導き出されるまとめ）
- 練り上げの場を工夫する。自力解決（個）→ペアやグループ→発表（全）
- 習熟の場を確保する。（補充・発展問題）
- かがしま学力向上支援Webシステム等や教材の共有化を図り、授業準備の簡素化や効率化を図る。
- ICT機器やタブレット等の教育機器や自作教具の活用を推進する。

3 学力向上について、全校態勢で取り組む。

- 学力向上対策委員会を月1回開催する。（職員会議時）
- 学期末毎に漢字力・計算力テストを実施・分析し、定着を図る。
- 小・中連携研修会における小・小、小・中共通実践事項を徹底する。

III たくましい体づくりプラン（健やかに 体育） ～煮しめの教え（個性の伸長）～

1 正課体育・体育的活動の充実を図る。

- 個人の年間の課題の設定と指導方法の改善の推進を図る。（体力テストの結果分析の活用）
- 1単位時間における実活動時間を30分以上確保する。
- 一校一運動の「縄跳び・持久走」の日常化を図る。
- 日常的な体力づくり（持久走・一輪車・竹馬・固定施設・縄跳び等）を推進する。

2 主体的・継続的な体力づくりを支援する。

- 「チャレンジかごしま」への積極的な取組の推進を図る。
- 児童会活動の中で、昼休みの「みんなで遊ぶ日」を推進する。
- 自力登校を習慣化する。（おのみふれあいロード約1キロ）

3 児童の健康づくりへの意欲と安全意識の高揚に努める。

- 生活リズムについて、学期1回学校評価で実態を把握する。（夏・冬休みは、けんこうカレンダー）
- は・ち・つ・ぼを徹底する。
- むし歯治療100%と歯みがき・フッ化物洗口等の継続した取組で予防に努める。
- 教児共に危険予知能力を高め、適切な対応の仕方を身に付ける。（年3回以上の避難訓練）
- 保護者・地域住民と連携した安全指導の推進を図る。（PTA校外指導部やスクールガード等、泰野交番との連携）
- 管理職による校内巡視と安全点検（月1回）の実施と事後処理の徹底を図る。
- 感染症等に対応した毎日の確実な健康把握を徹底する。